

# 常任・特別委員会の動き

## 元県立藤沢高等学校跡地

### 県有資産を有効活用

#### 地域・県との協議を進める

総務常任委員会は、三月十二日に開催され、三野由美子委員長の議員退職に伴う委員長の互選を行い、塚本昌紀委員を選出した後、議案四件、請願二件、陳情二件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきも、請願は一件が採択すべきもの、一件が不採択すべきもの、陳情は一件が趣旨不了承、一件が結論保留と決定した。

また、①藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町によるバスポトセンター設置に向けた取組状況②Fujisawaサステイナブル・スマートタウンの取組③県有資産の有効活用④藤沢市グロバロビジョンの策定

以上四件について報告を受けた。跡地の有効活用については、跡地の活用については、地域や市民団体から藤沢公民館改築や総合ミュージアムに関する意見・要望を受けており、本市の新総合計画の実施計画事業を具現化するため、跡地の移管について取得要望書を提出した。なお、取得に当たり、校地の大半を本市から県に移管に向けた神奈川県との協議については、二十三年六月に地域や市民団体の意見・要望を踏まえ、新総合計画の実施計画事業を具現化するため、跡地の移管について取得要望書を提出した。なお、取得に当たり、校地の大半を本市から県に



跡地の有効活用が望まれる元県立藤沢高等学校

## 総務

無償譲渡した経緯から、県からの移管に際しても無償譲渡とすることを強く要望してきたが、同年十一月に展示施設の開設について、県から有償譲渡となる旨の回答があり、協議における課題となつていく。

質問 新総合計画にある藤沢公民館の改築や文化資料展示施設の開設について、地域経営会議の中で、方向性や案などは出ているのか。答弁 地域経営会議の推進部会で、コミュニティセンター機能をもつ複合施設としてのあり方について検討を進めている。最終的には、建てかえに関する提言書等を受け、建設計画に反映していく。

建設経済 (仮称)藤沢市建築物環境配慮制度 CASBEEふじさわ 快適で環境に優しい建築物を促進

建設経済常任委員会は、三月七日に開催され、議案六件、陳情二件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきもの、陳情は一件が趣旨不了承、一件が趣旨不入の取組③第9次藤沢市交

地球温暖化対策の一つとして、神奈川県では平成二十二年四月から、神奈川県地球温暖化対策推進条例に基づき「CASBEE」が「CASBEE」として、計画建築物がどれだけ環境に配慮した建築物であるかを判断する物差しであり、地球温暖化対策計画書の届け出を義務づけている。このような状況を踏まえ、

地球温暖化対策の一つとして、神奈川県では平成二十二年四月から、神奈川県地球温暖化対策推進条例に基づき「CASBEE」が「CASBEE」として、計画建築物がどれだけ環境に配慮した建築物であるかを判断する物差しであり、地球温暖化対策計画書の届け出を義務づけている。このような状況を踏まえ、

## いきいき長寿プラン

### ふじさわ2014 最終計画案まとまる

#### 厚生環境

厚生環境常任委員会は、一月二十日、三月八日、二月十八日に開催された。一月二十日の委員会では、葛原第二最終処分場と(仮称)藤沢市リサイクルセンターの視察を行った。

本計画は、高齢者に係る施策全般と介護保険事業に係る施策を定めた行政計画であり、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進、高齢者福祉サービスの提供などの政策目標を設定し推進を図るとともに、介護保険サービスの見込み量やサービス基盤の整備等の計画を定めるものである。

計画の期間は平成二十四年度から二十六年度までの三年間で、各種アンケート調査のほか、パブリックコメントや公聴会、高齢者保健福祉計画(介護保険事業計画)策定委員会における審議を踏まえ策定したものである。

計画の推進に当たっては、高齢者施策検討委員会及び介護保険運営協議会のより効果的かつ効率的な運営に努め、高齢者施策の推進、介護保険制度の安定的な運営を図っていく。また、高齢者の生活を総合的に支援する体制の充実を図るとともに、市民・事業者・行政が連携し、高齢者を地域全体で支える体制づくりを進めていく。

基本構想では、理想とする高齢社会像を「心もからだも健やかに いきいきと暮らせるまち「湘南ふじさわ」と位置づけ、(仮称)成年後見相談センター、高齢者見守りネットワーク、地区ボランティアセンター、災害時要援護者への支援等の事業について取り組んでいく。

この日も文教常任委員会は、一月二十五日と三月九日に開催された。一月二十五日の委員会では、八ヶ岳野外体験教室の視察を行った。三月九日の委員会では、陳情一件を審査した。その結果、陳情は趣旨不了承と決定した。また、①扶養控除廃止に伴う保育料等の取扱い②東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能対策③藤沢市中学校給食検討委員会中間報告④本町小学校改築事業と多目的室の公的利用——以上四件について報告を受けた。

三月八日の委員会では、議案十一件、陳情四件を審査した。その結果、議案はすべて可決すべきもの、陳情は一件が趣旨不了承、三件が趣旨不了承と決定した。

また、①湘南東部医療圏における(仮称)湘南看護専門学校の新設支援②藤沢市歯科医師会による口腔保健センター再整備計画の変更③いきいき長寿プランふじ

市高齢者保健福祉計画・第5期藤沢市介護保険事業計画について

高齢者を取り巻く状況については、二十三年十月時点で二〇・三%である高齢化率は上昇し続け、四十七

本市の目指す都市ビジョンの推進と快適で環境に優しい建築物の促進を図り、持続的な発展が可能な社会の構築と地球環境の保全に貢献していくために、藤沢市建築物環境配慮制度「CASBEEふじさわ」の導入を考えている。

この制度は、対象建築物の面積規模を県より引き下げ、合計床面積が二十平方メートル以上の建築物を建築する場合、建築主から建築物環境配慮計画書を本市へ届け出たことである。

建築に際して配慮すべき項目については、境界内の建築物の性能を「建築物の環境品質」として、境界外の建築物に与える影響を「建築物が市場に多く形成されると考えている。

今後は、パブリックコメントを行い、事業者及び市民向けの説明会を開催し、意見集約後、市の考え方を公表する予定である。また、本年六月には議会に条例案を上程し、県と調整しながら十一月ごろには条例案の除外手続を経て、来年四月の施行を目指していく。

## 子ども文教

### 行政改革等特別委員会

行政改革等特別委員会は、二月十七日に開催され、藤沢市行政改革の推進について審査した。この日の委員会は、平成二十三年度「藤沢市事業仕分け」の結果及び市方針・計画の内容について、藤沢市経営戦略基本方針に基づく藤沢市経営戦略プランの取組成果について(見込み)の審査を行った。

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会